

資料 4

西東京市公民館運営審議会
令和4年度第1回定例会議

令和4年度 公民館主催事業計画書

令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和4年5月18日

	実施館	事業名	基本方針	期間・回数	事業概要	主な講師等
1	柳沢	乳幼児をもつ母親のための講座（保育付き） 笑顔が生まれる、はじめてのママ講座 ～仲間との対話で自分育てから～	1	6月22日から 10月26日 水曜日 10時から11時45分 全12回	はじめての子育てに不安を感じ、子育てや家事の負担を一人で背負いがちである母親が地域の仲間との話し合い学習を通じて、自分と向き合い、様々な考え方や感じ方に触れるとともに、心豊かに子育てを楽しむ機会とする。	藤田 潮（国際コーチング連盟プロフェッショナルサーティファイドコーチ） 青木千景（いのちの語り部） 和泉揺子（絵画造形講師）
2	柳沢	中学生・高校生対象講座 K-POPをカッコよく踊ろう！	1	令和4年7月27日から 令和5年2月1日 水曜日 16時15分から18時15分 全15回 ※ヤギフェスほか発表会4回程度	公民館利用の少ない中学生・高校生に向けて魅力的なダンスの講座を実施し、それぞれの思いをダンスで表現し、成果を地域の中で発表する。様々な学校・学年の子どもたちが同じ趣味を通して繋がり、発表会に向けて協力しながらグループパフォーマンスを創りあげることに関係性を育み、地域の中での居場所となることを目指す。	六反田菜都実（T.T彩たまオフィシャルダンサーチーム所属、桐朋芸術短期大学芸術科演劇専攻ミュージカルコース卒）

3	柳沢	<p>【共催事業】 イスに座って！ やぎさわ ディスコ ※やぎさわディスコ実行委員 会との共催</p>	1 3	<p>令和4年7月24日から 令和5年2月20日 日曜日 14時から15時15分 全4回</p>	<p>障がいのある人もない人も、地域の誰もが一緒に集える継続的な地域の居場所としてディスコ会場を設け、イスに座って楽しめるディスコを開催する。やぎさわディスコ実行委員会との共催により実施し、広く市民に公民館を知ってもらう機会とする。</p>	
4	田無	<p>第14回 田無公民館まつり</p>	1 3 4	<p>5月29日 日曜日 10時から16時30分</p>	<p>田無公民館を中心に活動しているサークルの活動成果を発表する場、地域住民と公民館利用者の交流の場を目的に、実行委員会形式で開催。新型コロナウイルス感染拡大防止で中止、その後、耐震補強等改修工事で1年間閉館となったため、3年ぶりの開催となる。</p>	
5	田無	<p>田無つながるプロジェクト</p>	1 3 4	<p>6月19日 7月10日 7月31日 日曜日 10時から12時 全3回</p>	<p>2年間のつながるプロジェクトの学びを共有したうえで、杉並区社会教育実践や、全国で活躍中の公民館・市民団体の活動をオンライン中継で紹介し、それらもヒントにしつつ、地域展開を踏まえたつながるプロジェクト実践計画表を作成する。さらに、講座参加者がはじめての一步として、田無公民館ロビーを会場に、地域で活動する団体同士のコラボ企画を、地域につながるロビー企画として企画実施する予定。</p>	<p>小笠原東生（日本女子大学非常勤講師） 斎藤尚久（杉並区社会教育主事）</p>

6	芝久保	子育て世代も参加できる講座 (保育付き) より素敵な生活へのチェンジ ～幸せって何?～	1 2	6月21日から 9月27日 火曜日 10時から11時45分 全9回	ウィズコロナ下での新しい生活様式の中、世界幸福度とSDGsランキング第1位のフィンランドの社会生活を知ることや、平和、環境、人権など様々な社会問題を学ぶことを通して、生活を見直すきっかけとする講座を実施する。さらに、今本当に大切なものは何か、また豊かさとは何かを改めて捉え直し、自分のより良い生活の在り方を考え、生活の向上を図る上でのヒントを提供する。	岩村太郎（恵泉女学園大学名誉教授、元副学長） 石井晴奈（東京外国語大学非常勤講師） 松下元之（漢方養生学研究所、薬剤師） 佐古隆之（日本女子大学家政学部専任講師） 山口真奈美（（一社）日本エシカル推進協議会副会長） 堀越栄子（日本女子大学名誉教授、（一社）日本ケアラー連盟代表理事） 石川文子（NPO法人子ども家庭リソースセンター所属）
7	芝久保	多世代交流講座 己書で描く書中見舞い ～文字に想いを込めて～	4	6月30日 7月7日 7月14日 木曜日 10時から12時 全3回	公民館が世代間の交流の場として活用されることを目指し、己書の体験を通して同じ地域で暮らす多世代が交流する機会を提供する。	岡川清乃（日本己書道場公認師範）
8	芝久保	創作講座 ぬりえで色彩を知ろう	1	7月13日 7月20日 7月27日 水曜日 10時から12時 全3回	色の三属性や混色や配色を知り、ぬりえを通して色の効果を学び、同じ題材のぬりえでも色の使い方で様々な作品ができることを知り、色の性質の理解を深める。	田村陽子（元デザイン専門学校講師）
9	谷戸	子ども向け自然観察講座 カブトムシが好きな子あつまれ!	1 3	6月11日 9月10日 12月10日 土曜日 10時から12時 全3回	西東京いこいの森公園内の「カブトムシ幼稚園」で幼虫を観察し、カブトムシやとりまく自然について学び、今ある環境を守り育てる活動をする。	原 朋子（多摩六都科学館パブリックリレーションズグループ主任研究員） 西東京いこいの森公園を育てる会 雑木林部会 西東京 自然を見つめる会

10	谷戸	親子講座 谷戸セミナーⅤ ～セミの羽化観察会～	1	7月29日 金曜日 19時から21時 ※雨天時30日に順延	講師とセミの生態や羽化について学習した後、西東京いこいの森公園に移動しグループごとに実際に羽化を始めている幼虫を見つけだし、自分の目で観察する。親子でその感動を共有する。	大森拓郎（日本自然保護協会 自然観察指導員）
11	谷戸	農業を知る講座	2 3	令和4年7月26日から 12月27日 令和5年2月中旬 火曜日 8・9月 8時30分から 10・11月 9時から 12・2月 10時から（天 候により変更有） 全24回	4班に分かれて夏から冬にかけての農作業と収穫を体験し、農家の野菜作りの基本を知る。農業への理解と食物の有難さを認識する。農業と環境の関係、都市農業の持つ多面的な役割を学び、農地を守ることが暮らしにどのように影響するかを考える。さらに西東京市の農業の現状や取り組みを学び、自分たちも「身近に農地のある暮らし」の担い手となれることを理解する。	保谷隆司（市内農業経営者） 小野紀之（環境カウンセ ラー、一般社団法人地域パー トナーシップ支援センター理 事長） 西東京市産業振興課職員
12	ひばりが丘	思春期の子どもに向き合うための講座 アドラー心理学から学ぶ 勇 気づけのコミュニケーション	1 2	6月22日 6月29日 7月6日 水曜日 10時から12時 全3回	思春期を迎える中高生を中心とした子どもをもつ親世代に向け事業を実施する。思春期特有の精神状態を理解した上で、アドラー心理学によるコミュニケーションの取り方を学び、子どもとの関係性を見直す機会とする。	辻川牧子（アドラーカウンセ ラー、ELM勇気づけトレー ナー）
13	ひばりが丘	親子で楽しむ講座 プラネタリウムシアター 親 子で聴きたい宇宙のはなし	1	7月23日 土曜日 ①10時から10時40分 ②11時から12時 2回	公民館の利用が少ない幼い子どもをもつ親世代に向けて、星空を投影し、語りと生演奏の音楽で非日常の世界を体験する。宇宙や星について関心を持ち、親子で共通の話題を通して学びを深めたり、実際の星空を見上げるきっかけをつくる。	野田祥代（あいプラネット代 表、理学博士） 渡辺好美（作編曲家、ピアニ スト）

14	ひばりが丘	上映会 16ミリフィルムで見るドキュメンタリー映画 「阿賀に生きる」	1 2	7月24日 日曜日 13時から16時	新潟水俣病が発生した阿賀野川流域に暮らす人々の日常をこまやかに描いたドキュメンタリー映画を上映する。アフタートークにより作品の背景や制作者の視点について理解を深める。	畠山容平（映画監督）
15	保谷駅前	あつまれ！ みんなのけいおん講座	1	令和4年7月18日から 令和5年3月19日 日曜日（初回は月・祝日） 14時から16時 全9回	音楽練習室がある施設の特性を生かし、公民館の利用が少ない青少年層に向けてギターやキーボード、ドラムの演奏を学ぶ講座を実施する。本講座を通し、これまで公民館にあまり関心のなかった若者が公民館に親しみを覚え、公民館が自らの居場所の一つとなることを目指す。また毎年、市内全域から中高生が集まる本講座は、学区域や学年を越えた仲間と出会い交流する貴重な場である。本講座をきっかけに、地域に新たなつながりが生まれることを目指す。	太田光宏（音楽制作集団 HEART NOTE PROJECT代表） 渡邊篤子（生涯学習音楽指導員） 山本雄一（(株)RCCドラムスクール代表）
16	保谷駅前	【共催事業】 多文化カフェ カディザさんが語るムスリムの暮らし ※「西東京にほんご教室」との共催	3 4	7月23日 7月30日 土曜日 10時から12時 全2回	地域に暮らすイスラム教徒の外国人を講師に迎え、イスラム文化やイスラム教徒の暮らしについて話を聞く。また、日常生活で会う機会の少ないイスラム教徒の外国人と実際に出会い交流することを通し、文化や風習の違いを超えて、ともに地域でつながりあう関係を築いていくきっかけを提供する。 「西東京にほんご教室」と共催で実施することで市民活動の魅力を伝え、講座終了後に関心を抱いた参加者が地域で活動する道筋を作る。	カディザ・ベゴム（市内在住のロヒンギャ難民。イスラム教徒。日本に暮らすロヒンギャの子どもたちへのオンライン学習支援活動の現地コーディネーター）